

## 第7回久留米市コミュニティ審議会 会議録要旨

- 日 時 平成24年9月18日（火） 14時～16時10分
- 場 所 久留米市役所 4階 401会議室
- 出席委員 古賀（倫）委員、満岡委員、溝口委員、竹村委員、下川委員、松田委員、有馬委員、井手委員、湊本委員、宇野委員、岡委員、中野委員、池田委員、佐藤（理）委員、今村委員、吉丸委員、佐藤（光）委員、伊崎委員、江良委員、吉田委員、高山委員（21名）
- 欠席委員 古賀（桃）委員、古賀（慶）委員、村井委員
- 次第及び議事内容
  - 1 開会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 第6回審議会について
      - ① 会議録（案）について
      - ② 会議録要旨（案）について  
《原案どおりで了承》
    - (2) 行政支援のあり方について [2-(2)]
      - 【主な質疑応答】
      - (委 員) 人的支援に関して、具体的にどのようなことをやっていこうと考えているのか。地域からの要望があれば、担当部局の職員を派遣し、説明会を実施するような方向で進めていこうとしているのか。 [2-(2)]
      - (事務局) 現時点で制度化され周知されているものとして出前講座があるが、これ以外でも地域からの要望があれば対応しているケースもある。こうしたことの調整を検討していきたい。 [2-(2)]
      - (会 長) この答申骨子（案）について、本日のところはおおむね了承いただいたようだが、今後の会議において、答申（案）の形で諮らせていただきたい。 [2-(2)]

(3) 住民の参加促進について [2-(3)]

【主な質疑応答】

- (委員) 自治会加入促進が、一番の課題である。[2-(3)]
- (委員) PTA 活動や子ども会活動などには参加するが、その他の活動には参加しないという方が多い。[2-(3)]
- (委員) 30 歳から 50 歳代までの男性の参加が少ない。[2-(3)]
- (委員) 旧町地域では、区長の権限や区長への依存度がいまだ強い。[2-(3)]
- (委員) 子ども会の活動にはその保護者の参加も多く、校区の役員がその場で声かけなど地道な努力を行うことで、自治会への加入や各種住民団体への参画などが得られた事例がある。[2-(3)]
- (会長) 市民意識調査では、女性が地域活動の管理運営に携わる経験は、40 歳代がピークとなる。女性を登用している地域なのか、女性の意思がどうなのか、という二つの課題が見えてくる。  
自治会の取組みに関して、女性は役員会などでの決定事項、若年層は会費の使途に関する情報提供を求めているので、これらに対応することで参加につながるのではないか。[2-(3)]
- (委員) この審議会の答申が行政施策に反映されるスケジュール等は、どのようになるのか。
- (事務局) 中間答申でいただいた内容は、具体的に協議、検討する。なかには時間を要するものもあると思うが、協議を踏まえながら対応していきたい。
- (委員) 自治会加入促進のためには、自治会未加入者を把握し、自治会役員から行動を起こさなければならない。[2-(3)]
- (会長) 数年前の市民意識調査では、「誘いを受けたことがない」を自治会未加入の理由として挙げている率が 3 割を超えていた。積極的な勧誘があってもいいかもしれない。[2-(3)]
- (委員) 宅地開発の際には、計画段階から開発業者に相談があり、自治会加入について、開発業者から住宅購入者に説明してもらっている。
- (委員) 自治会加入促進には、行政の協力も必要である。[2-(3)]
- (委員) 自治会等の会議へは男性の出席が多く、普段の活動へは女性の出席が多いという偏った状況にあるようだが、男性中心で意思決定されている場では、女性が気後れしてしまう傾向にある。女性が参加しやすい環境づくりと研修等の活用により、女性の参画促進や新たな人材発掘・育成につながると考える。[2-(3)]

4 中間答申手交式

5 その他

○次回委員会日程：10月23日（火）14時から